（毎日刊行）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可
明治四十二年五月廿九日（土曜日）　第百廿一號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

失題

みどり

▲サテも世間位五月蠅きものは無之候、八時間の睡眠時間が經過して鷄鳴曉を告げ朝暾東に上れば世事人事共に忙はし一方激烈なる生存競爭に立つと共に時と場合とに依りて何等かの問題に蟠踞せざるを得ず候而して意志強く理性堅きものは飽迄此の渦中に戰ひ、意志弱く理性確かならざるものは自暴自棄して終に倒るゝにいたるものに候、而して其の倒るゝや精神的に倒るゝものと形体的に倒るゝものとの別有之候、自殺は即ち形体的に倒るゝものにして之れ蓋し人生の最後に候。

▲寥々として移り行く世事人事に吾から好んでたづ●●●さはるは餘程の世話燒にあらざれば爲し能はざるものに候、さなくとも世人の一般はソレ相當に何等かの問題まで●●●ひ居るものに候、新聞の三面記事に謡はるゝ自殺者はホンの其の一部に過ぎずして其の實心に自殺を企て又は企てんとしつゝあるものは殆んど枚擧に遑あらざる程と存じ候。

▲而も世間には之等複雜なる世事人事をば我が物の如く心痛し、苦慮する一種の階級有之候、他なし新聞記者なるもの即ち之れに候、彼は一葉の落つるに先ちて天下の秋を知り、寅鳥の囀づるに先ちて天下の春を悟るの眼光を有し居り候、故を以て彼等は一の問題の湧起せんとする前には必ず豫言者が地球の消滅を稱ふるが如く東に奔り西に走りて其の眞相を探らんことに努め人をしてれセッカイな商賣もあるもの哉と嘆ぜしむるに至り候、されど這は彼等に取つては懸命の奔走にして決してれセッカイの爲めにするに非ず候、ツマリ這は彼等の商賣にして彼等は之に依つて生き、之に依つて立ち、之に依つて安心立命の地位を得居るものに候、之れ蓋し彼等が先天的斯く生れ來りたるには非ずして進歩せる社會の要求が彼等を作り出したるものに候、さればといひて彼等をして人事引受所の社長たらしむるも其の良否は斷言の限りに非ず候。

▲見渡す所近頃京城にはヒャプチャプ屋なるもの其の影を潜め來りたるやうに候が之れ洵に以て結構のことに候、察する所京城の天地も今日の如く秩序整ひ、制裁嚴となりし以上は此等徒手空食の徒は生活上勢ひ從來の方法を替ね他に堅氣な職業を求めざるべからず依つてそろ〳〵と其の影を潜め來りたるものなるべく候、されど千度に一度なりとも一旦舌にせし汁の味はイッカな忘れやらずと見ね種々に方法を替ね儲け口を探し居るもの間々有之やうに候、尤も彼等は從來の如く宏大なる門戸を張り「自分は空權屋の親玉なり」と大ビラに構ふ事には非ずいぶせき温突に引き籠りて小さき儲け口を探し居るやうに候、之れ蓋し朝鮮なる所が詭詐陰謀を用ひて金を儲くるに屈強なる所たるが故なるべく候。（二十七日午後二時筆記）

文苑

●百人一首讀替（一）　まゝこ女史投

●阿部仲麿
高麗燒のとくり振り見れば酒はなく　あとの漢城府たれにたのまむ

●喜撰法師
我がつまは都へだてしれく深く　うきことしらで耶馬溪に住む

●小野小町
あなあはれ桔梗の花のいろ香うせて　五三の桐のみ代となりぬる

●蟬丸
かねてより逢ふは別れとしるものを　はかなく歸る戀のれもかけ

●僧正遍昭
ふく風にかよひじとざせ村雨よ　止めてきみの庵りたづねむ

俳句

●自選十句●　怨堂

晝の蚊や拂子の前を唸り行く
香を焚けば煙に逃るゝ晝蚊哉
百合の花携へ行けば小蝶來る
蛇の衣松の小枝に掛かりけり
雨乞や雲のいろ〳〵去來して
汐浴びて砂濱を歸る姉妹かな
漁船や沖の島々五月雨るゝ

●南山閑師堂●
木下闇峯を登りて祠堂かな

●南山烽燧臺●
石壘や雨に打たるゝ苔の花

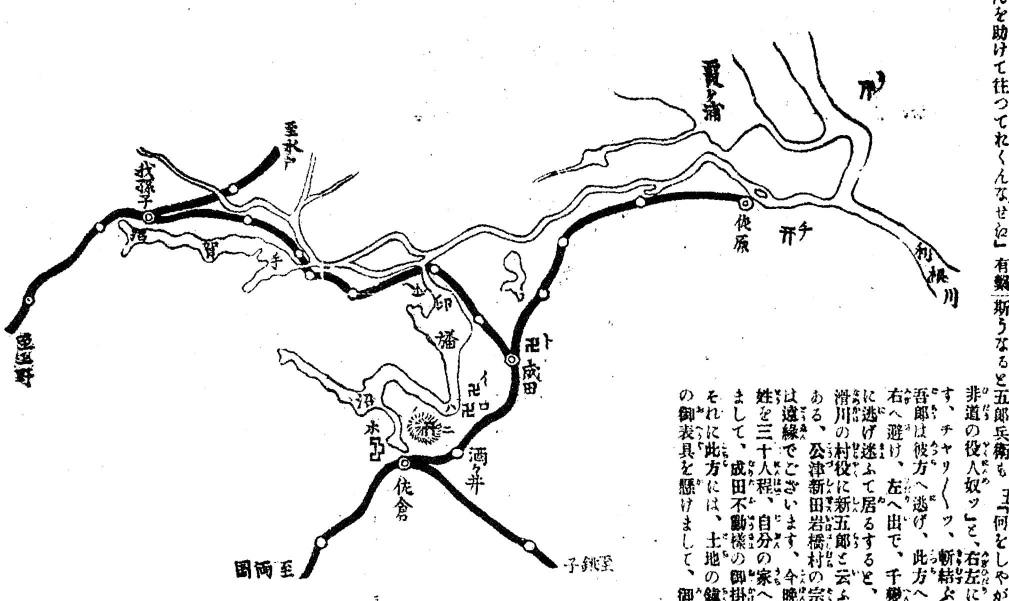
●老人亭●
古瓦や奇草茂りて雀鳴く



佐倉宗吾

（九十二）　眞龍齋貞水講演

役「コレ、貴樣達は、今頃駕籠を釣つて、何故あつて此邊を往來する、見れば京四つの駕籠、この邊に目馴れざる所の有樣　五「エー申し、私共は常陸の龍ケ崎から來ましたもので、駕籠の中へ女を載せまして、是から通れる人でございます、後から追手が掛つて來ますんで、其追手に女をとられるやうな事があつちや、面倒でございますから江戸の町まで急ぐんでございます、エー決して不都合のねね者でございます、女は藝妓でございまして、是に少し摑んだ事がわつて受取に參りましたんで、土地の惡漢が追掛けまして、據ろねねから、是から夜通し江戸へ突走るのでございます、此處へ參には、何も不都合のない者でございますから　役「イヤ待て、近頃堀田領分名主共、江戸表へ罷り出で御門訴御駕籠訴などさ、種々の手段を致し、領分を騒がす者があるに依つて、一應取調べなければ成らぬ、貴樣達の云ふ所も、違ひあるまいけれども、駕籠の中は何うしても一旦取調べなければならぬ、愈よ女と見做したならば、見逃して遣はす、調べるは此方共の役目なり、又此處は堀田家の領分なり、左樣心得て宜からう「既う斯う成れば仕方がない、井筒屋五郎兵衛が腕と目釘の續くだけ、斷拂うと云ふ覺悟、三人の若者は　若「親分、こう成れば私共、暴れ死に死んで防ぎますから、宗五郎さんを助けて往つてれくんなせゑ」有繋五郎兵衛が見立つた三人、無法者　若「サア、向役人奴ッ、此駕籠へ手でも着けやがれ、向う脛を掻拂つてやる」と、息杖を突いて立上る、五郎兵衛は鯉口を切つて、寄らば斬捨てんと身構へる、駕籠の中では宗五郎、今役人が進んで來たのを見たから堪らない、パッと逃げ出すこ、之を雪明に見ました堀田役人　役「イヤ、汝は公津村役宗吾だな」と云ふと、宗五郎は雪を蹴立つてパッと逃げやうとする、パラ〳〵ッと追掛けて來たのは、目明の幸兵衛　幸「ヤイ宗吾ッ、太ゑ奴だ、ソレ縛捕れッ、御用だッと、聲が掛る。若「サア、之を伴れて御城中へ引立てりや、御城代玄番樣から、褒美の金子は望み次第、ソレッ、宗吾を逃すなと、目明の幸兵衛、一生懸命後を追駈けて來る、此方は三人の若者、何も追ふて行かうとする役人の前へ立塞つて止めやうとすると　役「御用うッと、聲を掛ける、若者は　若「野郎ら何をしやがる」パッと息杖を持つて打撲つて掛る　役「汝、上役人に手向ひをするかッ　若「何を吐かしやがる、死者狂ひに撲て掛るから、堀田役人は何うする事も出來ない、斯うなると五郎兵衛も　五「何をしやがる、非道の役人奴ッ」と、右左に斬廻す、チャリ〳〵ッ、斬結ぶ、宗吾郎は彼方へ逃げ、此方へ通れ右へ避け、左へ出で、千變萬化に逃げ迷ふて居るすると、茲に滑川の村役に新五郎と云ふのがある、公津新田岩橋村の宗吾とは遠縁でございます、今晩は百姓を三十人程、自分の家へ集めまして、成田不動樣の御掛物、それに此方には、土地の鎭守樣の御表具を懸けまして、御燈明を照し具物を供へ、江戸表へ出でたる六人の名主が願ひが叶ふたか叶はぬか、何の沙汰も無い、一日も早く御領分御安泰に成るやう、一つには、親戚も加はつて出府いたし居れば、希か一同無事に居るやうにと祈つて居る、質朴なる田舍の人々でございますから、名主樣の心配は、吾々の心配と、共に偕に手を合せて拜んで居ると、段々夜が更けて參りました、するとワッワーッ、ワッて云ふ騒ぎ、何事だらうと思つて新五郎が雨戸を開け、耳を欹つて聽くと、宗吾郎を逃すなア、宗吾が其方へ往つたア」と云ふ騒ぎ、乾驚して　新「コレ一同の者　百「名主樣、何でございます　新「宗吾殿が此雪を冒して、江戸表から歸つてござつたと見ゆる、今表で宗吾殿を追掛ける者があるから何しろ遠縁ではあるし、折角歸つてござつた宗吾殿、何か仔細のある事だから、兎に角一同が助けてくれ



(二)　（月曜及祭日の翌日休刊）　明治四十二年五月二十九日　京城新報　（土曜日）　第百廿一號

北韓自由港

浦潮斯德の自由港閉鎖は北日本及北韓の貿易に多少の頓挫を與ふるは勢ひ免る可らず、是を以て余輩は曩に北韓樞要の港灣を改築し之を自由港となし、北日本及北韓と北滿洲及西比利亞との貿易に資するの必要を論じたりき、其後帝國議會も北韓鐵道の敷設及び北日本と清津港との交通に就て航路補助の建議案を決議したり、北韓及北滿洲に對する貿易及開拓は今や祖國の輿論を喚起するに至れり、統監府も韓國政府も亦之を認識したるか、去る廿五日官報を以て清津港を經て間島琿春地方への輸入貨物は自今關稅を免除すべきことを公布せられたり、是れ浦潮の自由港閉鎖を補ひて北滿貿易を獎勵するの擧なるべし、余輩は當局者の此擧を斷行したることを喜ぶと雖も、更に一歩を進めて清津港を全然自由港となさゞるを遺憾となす、之を換言すれば北滿洲の貿易を獎勵すると共に北韓開拓に資するの擧に出でざるを怪む也、何故に全然自由港として從來浦港に吞吐したる貨物を茲に集むるの策に出でざるか、之れ余輩の解するに苦む所也。

當局者は此關稅免除を以て北滿輸入の貨物を清津港に吞集する考ならんも、現在の儘にては到底其目的を達する能はざるべし。清津港を以て自由港として活きたる働をなさしむるには先づ第一に港灣を修築し、大船巨舶を安全に碇泊せしむる迄にせざる可らず、然らずして現狀の儘になし置けば沿岸航路の小汽船を寄港せしむるに過ぎず之れ設備を爲さずして客を招かんとするが如し、斯の如き狀態にて浦潮の自由港閉鎖を補はんとするも到底覺束なし、而して自由港として北滿及西比利亞の貿易を盛ならしめんと欲せば、北韓の交通運輸機關を整備せざる可らず、現在に於ては清津より會寧迄不完全の人車鐵道あるのみ、會寧より間島若しくは琿春に達する道路の如きは險惡にして貨物輸送の如きは頗る困難也、浦潮斯德より琿春吉林に達する道路とは決して同一に論ず可らず、斯の如くなれば清津港より北滿洲に入る貨物は槪して馬背に依るの外あらず、道路の險惡交通運輸機關の備らざるは北滿貿易の大障礙たり、之を除くに非ざれば清津港は自由港たるの働きをなさず、北滿貿易より見るも北韓開拓より見るも鐵道敷設は最急務也。

豆滿江畔に淸境キヤクタに於けるが如き貿易市場を設置することも清津を自由港として盛ならしむるの一策也、此貿易市場を設置せば西比利亞南部との貿易は意外の盛況を見るべし、是れ彼地方の事情に通ずる者の容易に首肯する所也。

東京電報

▲韓國政務調査　進步黨非改革派は韓國特別調査委員として代議士大內暢三氏を選定したり

▲龍山民長問題　進步黨非改革派は龍山民長問題に關し調査を始めたり（以上二十七日午後發）

▲暴徒討伐行賞發表期　暴徒討伐の行賞は審査委員官に異論ありて今日迄延行したるも最早纏りたれば來月六七日頃裁可發表せらるべし（廿八日午後發）

外報一束

●故英女皇紀念像　倫敦バッキンガム宮殿の前面に建設せらるべき故ヴヰクトリア女皇大紀念像の下部は愈々其据付を終了せるが之に要したる花崗石の重量は八百噸に及べりと

●英國の日本賞讃　英國帝國日祝祭に於て中注意を惹きたる點は各倫敦公立學校に於て八十萬の兒童に其の祭日の由來及び意義を說明し同時に和戰双方の技術に於ける日本の發達と其の國民が義務及び愛國心に就き高等なる觀念を有し能く私利を抛つて公益に殉ずる美德等より受くべき教訓に言及したるに在りと

●駐清公使人選難　世界の最大鑛山技師たるジョンヘイズ、ハモンド氏は現在駐清米國公使ロックヒル氏の后任者たらんとの內命を大統領タフト氏より受けたれど氏は之を辭退せるが蓋しタフト氏は列國が競ふて清國に於ける國債引受その他の特權を得んとしつゝある今日手腕ある實業家をして清國公使の任に當らしめ以て米國にも相當の利益を獲得せんとの意あるを以てなりと

●改革準備　清國にては政費節減冗員陶汰の第一着手として民政使、度支使を合併し高等審判廳は提法使に合併せらるべしと官僚間に傳へらる、又錫總督は六使二道の各官吏の履歷書を提出せしめ陶汰人員の勘考中なるが既に交涉司より十四名を免官したりと

雜報

●帝室債務決定

韓帝室の債務は去る廿六日を以て全部の審査を結了したる旨は既記せし所なるが今債務審査會の議決を經昨日の官報にて發表されたるもの左の如し

一金十万〇六百九圓　前明禮宮庫直李始秀外五十九名

但開國五百四年より光武十年に至る十二年間に於て請願人等は前明禮宮に納付せる各種物品代金未拂額三十六万四千六百三十九圓の支拂請求に對し上記の金額を支拂ひ殘額は支拂の義務なきものとす

一金一万七千六百四十一圓　前內需司庫直徐在成外三名

右請願の要旨は光武三年より同　年に至る八ヶ年間に於て前內需司に納付し各種物品の代金未拂額五万八千八百四圓の請求に對し前記の金額を支拂ふものとす

一金四千百十四圓　前龍洞宮掌務鄭漢有

但請願の要旨は建陽元年より光年十年に至る十一ヶ年間に於て請願人は前龍洞宮に納付せる各種物品代金及給料未拂額總計金一万三千七百十五圓の支拂請求に對し上記の金額を支拂ふ

一金六千圓　順和宮　金性敏

但光武十一年　月より隆熙元年に至る十二ヶ月間に於ける各種物品代金未拂額

●國有地調査規則　度支部所管の國有地は十余萬町歩にして同部が不日調査に着手すべしとは既報の如くなるが今回其調査規則に[illegible]したる事項を聞くに驛屯土、各宮庄土、陵園墓附屬土地及其他の國有地に就て各筆毎に（一）所在（二）地番（三）地目（四）面積（五）四標（六）舊名稱（七）賓納小作料（八）等級及證據小作料（九）小作人の住所姓名を所在府、郡、面、里、員又は坪名を地番は洞里毎に起番し地目は畓、田、火田、鹽田、池沼、垈、山林、牧場、蘆田、草坪、柴場、荒陳地、雜種地を調査する筈なりと云ふ

●トロール漁業の許可　曩て報導せし如く蒸氣を以て海底を一掃する新式トロール漁業は今般農商工部に於て東海岸方面へ五件を許可したりと

●司法官及典獄會議　昨二十八日司法官及典獄會議は一昨日に引續き各員の提出に係る事項に就き協議會を開きたるが尚各裁判所書記及各看守長は所管事務に關する打合會を爲したりと云ふ

●行啓ご準備打合　京畿警察部長飯田章氏は韓皇后水原行啓に就き之れが準備打合せの爲め昨二十八日入京內部を訪問したりと

●獸疫檢査規則協議　農商工部にては二十七日中村農務局長、原島技師、生田書記官、三田囑托、四王天課長等集合し獸疫檢査規則に就き協議したる由なるが不日法律案として閣議に提出する筈なりと云ふ

●地方官會議ご官吏　地方稅施行協議に付六月一日より各道書記官を召集するは既記の如くなるが內部及各部の諮問事項中地方費を以て今後地方官吏を增加する等の件も其中に加はらるべしと

●司法官會議の延期　目下開會中の司法官及典獄會議は開期を六日二日迄延期すべしと

●會議所の半數改選　京城日本人商業會議所にては六月一日選擧人名簿を調べ同二十日議員の半數改選を爲すべしと

●銀行の補助貨輸途　平安北道北鎭市場に於ては昨今甚だしく補助貨の拂底を來たしたるを以て諸取引上頗る困難を生じ來りたるに依り平壤農工銀行寧邊支店より補助貨三千五百圓を輸送し金鑛會社と交換したりと

●江界の農事經營　平安北道江界邑內に在住する長野縣人春野某は日本より農夫四名を連れ來り江界邑內に模範農場を設立せんと企圖し目下畑五反歩を借入れ專ら日用野菜の栽培を主とし傍ら水田三反歩は稻作を試みんと種籾を培養して在那人の需用を充さんとしつゝある由

●實業學校開校式　官立仁川日語學校が過般實業學校に變更されたる由は既報の如くなるが來月五日を以て開校式を擧行すべしと

●出版法ご違反書數　既報出版法實施以來治安を妨害するものと認められ其發賣を禁止されたる中等教科東國史、越南三國史、幼年必讀及同釋義、禽獸會議錄、笑話、二十世紀朝鮮論の押收高は五月三日より同二十一日に至る間に於て三千七百四冊なりと

●內部の會計檢査　度支部會計檢査官は二十七日より內部に出張して會計檢査をなしつゝある由

●釜山の輸出穀物　釜山商業會議所にて調査したる同港輸出米穀及大豆の年度比較表左の如し

仕向地		三十九年	四十年	四十一年
		石	石	石
日本	米	三〇、七三三	一二六、五八五	三〇一、三四一
	豆	二五九、六五四	二五九、四三三	一七二、五四〇
清國	米	一四〇	一、〇〇九	不明
浦鹽	米	三、八二一	二九、〇〇七	不明
	豆	九五	一	不明
合計	米	三四、六八三	一四六、六二一	三〇一、三四一
	豆	二五九、七四九	二五九、四八四	一七二、五四〇

●咸南道の鮭漁場　咸鏡南道龍興江及城川江に於ける鮭漁場は從來帝室有なりしも幾に國有に編入せしが度支部に於ては此の機に際し右二川を禁漁區となし鮭繁殖の一方法として人工孵化場を設置し以て財源涵養に資せんとの議ある由にて特に財源調査局より小島技手を派遣し審査せしめたりと云ふ

●聯合會々頭の招宴　韓國商業會議所聯合會々頭中村再造氏は關稅法輸入稅率改正案に援助を與へ呉れたるもの一同を六月五日午後六時より花月に招待し宴會を催うす由なるが招待者は大塚、荒井、木內の各參與官兒玉、荻田兩書記官熊谷民長民會議員商業會議員及新聞記者等なりと

●特許局大阪取扱所　韓國特許局は今回大阪府廳內に同局事務取扱所を設置し特許、意匠、商標及び著作權につき統監府特許局になすべき出願請求に關する書類雛形、見本の授受其他届出に關する事務を取扱はしむる旨統監府告示第四十三號を以て曾禰副統監より公布し同時に大坂府知事へ通知ありしを以て同府廳農商課は直に事務取扱の開始をなしツレ〳〵係員の任命を爲したりと

●被害者ご下賜金　韓皇には曩きに詔勅を發して暴徒罹災者を撫恤し合せて御手許金中より金十万圓を支出して遺族に下賜せしが右は被害者一人につき金十圓、罹災戶一戶に付金十二圓の割合なりしが尚ほ一般罹災者を賑恤する能はざるに依り更らに金十萬圓の下賜方を稟申したる處聽許相成たる由なれば不日之れが發布を見るに至るべしと云ふ

●豫備金ご支出　左記豫備金支出の件內閣會議を經て裁可決定したり

一金千八百圓　匪徒被害者遺族給與金

一金千三百六十圓　漢城消防用水管車購買及望樓建築費

一金千〇七十四圓　港內島燈臺暴徒被害に關する諸費

一金千百三十九圓　臨時棉花栽培所隆熙二年度不足補塡支出金

●民團議會開會　京城民團にては今二十九日午後七時より協議會を開く筈なるが其の事項左の如し

協議事項

一、漢城病院處分に關する件

二、瓦斯會社道路使用の件

三、軍用地に於ける出張所設立の件

四、消防器具設置の件

報告事項

一、軍用借地料納付延期の件

二、中學校補助金下付の件

三、南山町給水池貸付に關する件

漫畫募集

▲應募心得▼

一、畫題は時事問題に關する諷刺

二、畫面は四寸五分と二寸二分五厘

但竪横自由の事

三、當選者へは本紙一個月分を進呈す

四十二年五月　京城新報社

●各縣の試驗漁場　我農商務省にては韓國、樺太及沿海州方面に於ける漁族、漁季其他の漁業實況を調査する爲め數十個所に試驗漁場を設定する事に決したるが其結果が廣島、山口、長崎、愛知、島根の五縣より韓國沿岸に試驗漁場を設置したき旨韓國農商工部に申込みあり同部に調査の結果先づ愛知、島根兩縣の申込に對し條件を付し承認を與へたりと因に尚長崎、廣島、山口の申込に對しては目下研究調査中にして近く決定すべしと

●松井局長の歸任期　目下東上中の松井警務局長は來月三四日頃歸任すべき旨其筋へ通報ありたりと

●平南品評會の成績　過般平壤大同門樓上にて開催せし平南勸業品評會の報告書を見るに同會出品區域は三和府外十八郡にして參考品としては平壤勸業模範場江西蠶業傳習所平壤鑛業所黃州興業株式會社等にして出品總人員韓人二千六百四十四人邦人百二十五合計二千七百七十六人なり

●木浦圖書俱樂部　木浦圖書俱樂部は一昨四十年七月創設されたるが維持費の出途なきため窮狀にあるを以て有志等は擴張方針に就て協議中なりと

●中學校ご附金ご答禮　京城中學校設立に際し統監府より金二千圓下附せられたるにつき熊谷民長は昨二十八日統監府を訪ひ答禮したりと

●學校職員の協議會　第二十六回官立普通學校長及教監會議は本日午后二時學部に於て開かるゝ筈なるが事項は教授管理法に關する件なりと

●大同江鐵橋試運轉　大同江第一鐵橋は二十六日午前十一時機關車四輛と軌條を滿載せる無蓋車二輛とにて試運轉を行ひたるが至極好成績にて廿八日午前十時四十八分着列車より開通せし筈

●南浦新報組織變更　鎭南浦新報は今回內部の組織を改め同地の行之會之を經營することゝなり從來の社長有本源次郎氏は其の職を退き長谷川圭輔其の後を襲ひ去る廿五日披露の宴を開きたる由

●學部主事の出張　今回京畿、江原、黃海、平安南北、慶尙南道、忠淸南北の各道に於ける各私立學校に補助すべき件並に地方學事視察の爲め永井、田寺、大野、山口等の各主事出張を命ぜられたり

●露國書記生の結婚　京城露國總領事館付書記生ケルベルグ氏は同總領事家庭教師なる佛國婦人と婚約整ひ不日結婚式を擧ぐべしと

●熊谷民長の全快　曩て齒痛の爲め引籠中なりし熊谷民長は漸く全快し昨廿八日登廳したりと

●當田書記官の出張　度支部臨時財產整理局債務課長なる同氏は來る三十日出發往復四十日間の豫定を以て東京へ出張する筈なりと云ふ

●碧巖書伯の揮毫　横地碧巖書伯は旭町一丁目度支部官舍前の出口方に轉居し需めに應じて揮毫する由

●延平列島の漁業　黃海道延平列島附近に於ける漁業期は四月上旬より六月下旬に至る三ヶ月間にしてうの最も盛期ともいふべきは茲數日前より來月中旬迄なるか今其同島附近に於ける漁況を聞に延平列島は海州を距る三十浬、康翎半島の東に在る群嶋にして大小二の延平島と數多の無人島より成る大延平島は周圍十里あまり、戶數百七十五人口六百九十一、小延平島は周圍大延平島の半にして戶數十七人口七十五なるが此等の住民は多くは漁業に從事し農業之れに亞ぎ商工業を營める者僅に指を屈するに過ぎず而して目下同島附近に集まれる漁者は日本船一韓船五六百隻にして其主なる漁獲物は石首魚なるが此等は仁川及海州に輸送されて販賣されつゝあり今日の處未だ大漁と云ふを得ざるも今後十數日間は盛漁期なるを以て漁獲物も頗みに增加すべく隨つて出漁船も亦數倍に及ぶべしと尙此等の出漁船は延平島に於て汲水其他日用諸品の供給を受けつゝあるに依り昨今新たに[illegible]島に店舖を出したるは米、鹽、酒類、織物類雜貨品及裁縫店各四にして其他雜商九に[illegible]べりと云ふ

本日の集會

●微笑會　同會は大和町三丁目圓山大[illegible]宅にて開會の由參聽隨意との事なり

●南山本願寺說敎　本日は土曜日につき午後八時より例の通り說敎あり

公人私人

▲白川正治（平壤實業新報社主）　來京中の處二十七日歸壤

▲森田龍太郎（釜山商業會議所書記長）　[illegible]日退京仁川へ向ふ

▲中堀亦次郎（海軍主計少監）　二十七日入京巴城館

▲柿野千代吉（海軍機關兵曹長）　同上

近事片々

▲ジア●●　パンアトバータイザーに面黑ひ事がある其一片を擧げて讀者の一粲に供

▲統監●●　府には頗る傑物が居る夫は石塚官代理と鍋島外務部長の二人也とは滑稽

▲伊藤●●　統監曾禰副統監が內顧の憂なく心して東京に悠々たるは此二人有が爲也

▲鍋島●●　君は殊に豪し難て韓國指導の大任に當るの人也とドコ迄も滑稽の記事ツフ

▲其豪●●　い御方が近々霞ヶ關の元の古巣潜込むの說と對照して頗る妙失笑の好材

▲新統●●　監親任式の延引は伊公が韓國統最高顧問保留を希望する爲也と是も亦一

▲太子●●　大師を兼て最高顧問たらんとは公胸底の希望強ち風說とのみと云ふ可らず

▲桂內●●　閣の御用紙東京便りに於て漸く歸子の陞任を吹聽す言ふ所巧妙にして氣

▲伊公●●　の統監たりしは長白山埋骨の爲非ず帝國進取の皇謨を半島に實現する爲

▲明瞭●●　に帝國主義を發揮す而も伊公の策を踏襲すべしと然らば矛盾の結果を見

▲後藤●●　遞相の急遽歸京は小村外相に替てチロルモリソン兩氏に談判せんが爲也

▲鐵爵●●　の性格遞相たるよりも外相たる或は適せん兩氏との折衝振は小村に優ら

▲チロ●●　ル氏はタイムス社の對韓策方針を定めんが爲に來る而も英政府の依賴も有と

▲是れ●●　表面の事實のみ其裏面には何事の潜在せるや是には小村伯の細工もあらんか

▲モリ●●　ソン博士小村伯と善からざるも[illegible]藤男とは頗るよし此間の消息知るべきのみ

▲李根●●　澤李根皓の兄弟統監更迭に乘じて躍起運動を試みつゝあり併ても厄介の輩也

▲根澤●●　の政權に渴するや久し餓たるもの食を擇ばず例の惡辣を極るやも知る可らず

▲金允●●　植の邸宅市の如し有像無像共押寄せて擔ぎ上げんとす老人緊褌一番を要す也

▲金老●●　人由來溫厚兎角擔ぎ上げられ易し最早政界に念を斷つべき也袈裟氣を脫せよ

▲日糖●●　事件の公判開から羽織袴に深編笠の珠子繼ぎ七十名の辨護士居流る光景見事

▲首無●●　し女の探偵と日糖事件の公判は國國に於ける大問題寄ると觸ると喋々喃々す

●小學校…幸三郎氏は…の後

●理事官の辯護士招待 三浦理事官は京城理事廳管內各辯護士を來る六月一日京城…

●吉林の大豆會社 米國商人の一團は資本金百五十萬圓を以て吉林省內双城子に大豆買收の大會社を設置すべしと

●土石採取權許可 土石採取規則に依り
咸南端川郡斗日社所在の雲母六十二萬坪 京城永樂町二丁目 內田實外三名
同上所在の青玉石、斑玉石、黃玉石四百六十坪 京城東部宗信坊 洪泰潤

●木浦商議員半數改撰 木浦日本人商業…〜由撰擧期日は同廿五日前後なるべしと



●賊と船夫の格闘

▲海賊三名に掠奪され
▲船夫奮闘復讎を爲す

仁川署管內江華島附近フワンミー島近海に於て船夫七名と海賊三名の大格鬪ありたる後海賊二名を捕縛し海賊船を鹵獲して仁川に引き揚げたる事件ありたり今其狀況を詳報せんに仁川沖德積島昇皇島居住船乘業李順文(四十)と云ふが去る二十六日昇皇島より帆船に鹽を積みて仁川に至らんとする途中江華島フワンミー島にて干潮に際したれば潮待ちして有りける程に夜は次第に更け亘りて八日の月は寂しく天空に懸りて船員最とゞ物淒き感に打たれて有りける程に李が船尾の方に當りて怪しき物音を耳にしたれば何聲ならんと不審の耳を欹だて見れば此時海賊三名は早や甲板に仁王立ちとなり居りしが忽ち六名の船夫を縛し一名を案內者となし船中殘る隅なく搜索したる后財囊三個現金十三兩米一斗五升鹽五石其の他衣類雜品十數點を海賊船に移積したる後縛せる船員を一所に蒐め頭と覺しき海賊は徐ろに口を開きて云ふ樣我等三名が本船にて

掠奪したることは今後如何なる事ありても他言すべからず若し他言するに於ては汝等の

六族を誅すべしと、脅迫の言句を並べたる末三名は闇に姿を晦まし海賊船に乘り移り翌二十七日東天漸の白ろく見へ初めし頃ほひ南方差して漕ぎ出でたり斯くと見たる七名の船夫は先づ胸を撫で命の助かりたるを喜びつゝ甲板に登りて海賊船の行衛を見定めたるに前記海賊船はフワンミー島の下方なる一小島に碇船し掠奪品を整理し居れるが夜の程は船の容積等不明にて唯だ恐るゝ一點張りにて抵抗する如き勢ひなかりしも七名の船夫は海賊が豫想外に少さく尚同類者も三名のみなる模樣なりしかば船夫七名は生命を賭して

復讐に向ふことに決し海賊の碇泊せる地點差して出帆したる所斯くと見たる海賊は早や力及ばずと見たりけん直に碇を揚げて逃げんとしたれど船夫もさるもの此模樣に勢付き七名手に手に得物を携へ賊船に乘り込みたり海賊は

短銃及朝鮮刀を閃めかして七名に打つて掛りたるも元より死を賭したることなれば當るにまかせて賊をなぎ倒したれば二名の海賊は最早力及ばずと思ひ

海中にザンブと許りに**飛**び込まんとしたるが一名は船夫に抱き止められて縛され二名は海中深く沈み行き殘れる一名も亦難なく縛せられたれば船夫は直ちに海賊より襲さに掠奪せられたる鹽及其他を取戾し同船を曳ひて一昨日仁川港に着したり仁川署にては此の報に接し警官出張し二名の海賊を引致し目下取調中なるが兩名共に江華島生れにして朴學根(三八)李根燮(三二)と云ふものなりと

●五圓券の僞造

▲關係者二十七名の引致

去廿三日慶尙北道知禮憲兵分遣所及び巡査駐在所にて僞造五圓券行使者及び關係者二十七名を引致せり今其次第を記さんに去廿一廿二兩日同地に於て韓人金擇振等の演藝興行ありたる際興行人金擇振、宋奇環外一名は金泉より行商せる某に向つて五圓券三枚と葉錢との交換を求めたるを某は僞造紙幣とは知らず交換し遣りたり然るに某は金泉に歸り該紙幣を支那人に渡さんとしたるに支那人は僞造券なりとて受取らざるより初めて其僞造なるを發見し某は知禮に取つて返したるも演藝者等は既に居昌を去りたる後なりし故其旨憲兵隊に訴出でたり乃ち知禮憲兵隊にては早速右演藝者二十七名を引致せるが僞造券多數所持し居たり而して取調べの結果僞造五圓使用者は慶南鎭南郡生れの金擇振、具明善、宋奇環の三名が金泉の行商人より三度に交換せるものなりと僞造五圓券の特徵は明治三十七年四月印刷局製とあり又株式會社第一銀行澁澤男の肖像あり番號は三枚共を二八〇七五とあり

●酌婦取遣の談判

▲警察に願て女房にする

本町一丁目裏通り雇人口入業共榮舍業務取扱人丸目淺右衛門は龍山君の江の酌婦山口縣生れの松本はつを七十五圓で身受けして連れ歸り江原道金化の某飲食店へ住替せしめんと計畫し居りしが此はつの情夫たる西小門通り二十三番戸栗原正一と云へるがはつを女房にせんとて金策して丸目方に到りしも更に應ぜざるにぞ栗原は南部署に說諭方を願ひ出しかば同署にては右三人を呼出して尋問せしにはつは金さへ出せば栗原の女房に成る可く承諾したれば茲に双方示談を遂ぐ可く醫ひて引下りたり

●車上から落て氣絶す

▲車夫の不注意に依る

日之出町醫師多々見五郎氏の妻タチ子(三十)は主人及び代診生外三四名と共に南大門驛より人力車を連ねて歸宅の際南大門通松方商店前道路に於てタチ子の乘れる車輪が小石に觸れて轉覆しタチ子はズデンと地上に轉落し一時人事不省となりしも多々見氏は御手の者とて直に應急手當を爲し北米倉町工藤婦人病院より擔架を取寄せ自宅に運ぶ

●舊罪の露顯 仁川警察署の三刑事が過日京町通りにて捕縛せる高知縣生れの岩村勉(四七)と云ふは不審の點ありしかば十五日の拘留に處し其後取調べたる所十年前島根縣にて官印盜用の罪を犯かし懲役七年の缺席裁判を受け居たるものなること判明したるが目下尚取調べ中なりと

●平南の大降雹 平安南道成川郡雲山面地方に此程約一時間に亘りて鷄卵大の降雹あり農作物の被害多大なりと

●逃亡娼妓押へらる 仁川敷島遊廓朝日樓の抱娼妓たりし和歌山縣生れ吉田サワ(二十)と云ふは去る三十九年前借金四百圓にて同樓に住み込み數月を出ずして逃亡し當地竹園町一丁目二十一番戸中村イチエ方に潜伏し居たるを樓主福岡利吉の知る處となり昨日南部署の手にて取押へしが同時に櫻井町居住女髮結近藤ツ子(四十)は彼を引出したる嫌疑にて同署の取調を受けたり

●丸一の賣出日延 本町三丁目丸一洋反物店にては海軍紀念日をユカタデーと稱し旭館を陳列場に充て盛んに反物の賣出をなしつゝありしが非常の盛況なれば來る三十日迄日延する由

紳士の遊興振

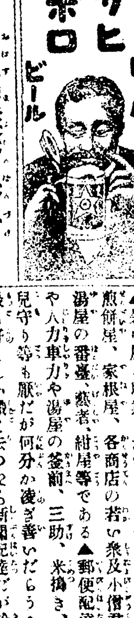
◎釘本藤次郎君

君は大分縣出身で古くから渡韓して多年辛苦を甞め今では民會議員や商業會議所議員を兼ね本町の眞中に大きな鐵物商を營む立派な成功者の一人である、君の容貌を某藝妓が評して、色は商賣柄だけに鐵色を帶び頭の禿け方は丁度舶來のセト引鍋ソックリだとは隨分酷い批評だ さて君が一度び樓上の人となつて如何なる遊方をするかと云ふと、是れは又當地實業家中にも稀れなる垢の拔けた一人で嫌味のない事は花柳界で喧しく傳へられて居る、君は多く酒を呑まず、ビール少量を煽れば忽ち陶然として醉ひ、醉へば直ちに藝妓の品評をする、そして其鑑定は實に一頭地を拔いて居る、それから君が四疊半の一室に愛妓と差向ひで歌ひ出す處は例の「れしよろ高島」の追分で聲の美しい抑揚の巧妙なる眞に聞く人をして恍惚たらしむ、三味線を合はして居る藝妓杯は感に打たれて思はず歔欷を催す位だ、宴會杯では能く二上り新內の「惡止めせずと其處はなせ」をやる、長唄ひ口は泣くが如く訴ふるが如く、席上爲めに水を打た如く自然に耳を傾くるに至る斯樣な鹽梅式だから君の風采のみを見て金物屋の旦那だけに堅い武骨物と云ふは大に誤りだ時にれ安からぬ艶聞を耳にする……とは羨ましい……

次は澤田書記官

●七歲の迷兒 大和町一丁目浪花湯裏白九十四番戸宮田由太郎長男春雄(七)は一昨日午後三時三十分南大門通二丁目市場附近に迷ひ居たるを巡査が保護し實父に引渡したるが同人は頭部に火傷せしため知覺精神鈍く兩親も困り居る由

●一昨夜の新町 遊廓は不相變寂寞で總登樓客九十七名費消高僅かに五百十四圓二十錢內第一樓の十八名と費消高百八圓七十五錢は平素よりも盛んなり



●東京 大相撲新番附

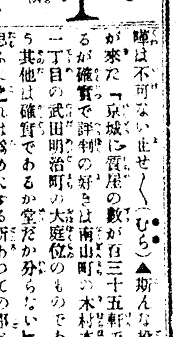
東京大相撲五月場所新番附は愈々廿五日午前五時發表さる幕內新舊對照左の如し

(東)

	新	舊
橫綱	常陸山	常陸山
大關	駒ヶ嶽	駒ヶ嶽
關脇	西の海(錦洋改)	錦洋
小結	朝の嵐	朝の嵐
前頭	大の川	高見山
同	碇潟	碇潟
同	尼ヶ崎	浪の音
同	兩國	尼ヶ崎
同	大緑	紫雲龍
同	千年川	稻瀨川
同	高見山	大湊
同	浪の音	小柳
同	大湊	小常陸
同	小柳	大の川
同	小常陸	大緑
同	紫雲龍	兩國
同	山泉	神崎
同	男島	八島山
同	神崎	有村
張出前頭	氷見濱	

(西)

	新	舊
張出大關	國見山	荒岩
橫綱	梅ヶ谷	梅ヶ谷
大關	太刀山	國見山
關脇	玉椿	太刀山
小結	伊勢濱	玉椿
前頭	鶴渡	千年川
同	鳳	伊勢濱
同	上ヶ汐	緑島
同	有明	稻川
同	大川	有明
同	鏡崎	鶴渡
同	柏山	大崎
同	緑島	柏山
同	立川	鳳
同	有村	鬼龍山
同	稻川	上ヶ汐
同	黑瀨川	氷見濱
同	司天龍	藤見嶽
同	梅の花	
張出	錦戸(小左倉改)	立川
前頭	海山	



平民文庫

捏造中傷無用のこと 小便も亦御斷り申候

▲暑中厭な職業を云つたら、先づ鍛冶屋、煎餅屋、家根屋、各商店の若い衆及小僧君湯屋の番臺、藝者、紺屋等である▲郵便配達や人力車力や湯屋の釜前、三助、米搗き、見守り等も厭だが何分か凌ぎ善いだらう▲最も好ましい職と云つたら新聞配達だが給料が安いのは玉に疵だ天二物を與へずださ諦めるさ併し冬はつらいだらう▲其處で年中通じて苦しいのは巡査君と兵士君、其の內でも更に氣の毒なのは司令官や統監邸やの衞士である▲御主人公は豈夫花合戰も成ては居まいが晝寢位ひは蛇度爲てムる夫れを他所に立ち盡す衞士君、夫れでも不平を云はない神の如なる衞士君、僕は深厚なる同情を寄するに躊躇せぬ(迷羊)▲長いけれど載せて與れと前書がして有つた計りでなく初めての方だから載せましたが以後はモ少し短く願ひます(係)▲梅毒患者でもないものを梅毒患者と診定し入院治療を要すと斷言した爲め患者の反對から他醫の立合となり梅毒患者に非すとなつたので淫賣屋から損害賠償を訴へられた醫者がある御存じですか(知恐生)▲正眞事ですか、知りませんから敎へて下さい(係)▲何部の役人か知らぬが廿六日の午後四時半頃役所からの歸り途であるらしい風俗をして太平町の鶴龜樓の格子から覗いて居たが此んな調子ではれ退の時間が待遠しからう(八の子生)▲御通知生君よれ尋ねに與かりて恐れ入りました僕の如き貧生外に何の樂しみがあるものですか俗務に追はれての御無沙汰に外ならずです(食度生)▲食度生君よ、何程俗務に追はれても給だけは食べて居でなさるでしよう(小僧)▲井門の政子姐はんは每晩々々パナマの帽子に金縁眼鏡の旦那はんと壽座見物れ樂しみのことだすなア旦那はんの財布まで預かりやはつてれ內儀はん氣取りあて見たいなひともんの顏もたますだつしやろに、少し遠慮れしやす、併し旦那はんは好な男だす、ア(御存じ)▲へエー左樣ですかね彼の妓の藝の達者なことは本員も聽いて居たがね、へエー然う云ふ與手までも達者であるとは、へエー(小僧)▲小僧の癖に生意氣なことを云ふな(係)▲小僧だつて構ふ所は構きます、言論の自由を抑壓する抔とは宛然統……(小僧)▲オイ內輪同士の喧嘩は不可ない止せ〳〵(むら)▲斯んな投書が來た「京城に質屋の數が百三十五軒であるが確實で評判の好きは南山町の木村本町一丁目の武田明治町の大庭位のものであらう其他は確實であるか堂だか分らない」と、思ふに之れは爲めにする所あつての事と推斷する人を馬鹿に仕た奴だ、試に見よ、質屋の數が百三十五軒と迄知つて居る所でも分明だ改めよ、然らざれば此の次には容赦せぬよ(係)

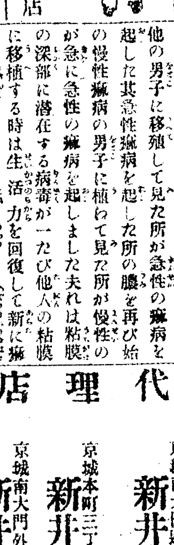
演藝界

●壽座● 連日好人氣にて大入を占め居れるが本日の替りは「僞華族」全五幕にて其役割左の如し 公爵篠田國秀(松村)篠田國夫(青井)支那人ボーイ、巡査谷口(大山)篠田秋子(藤原)長家喚れまる(東鄕)海軍中尉苅谷靜夫(篠田)銀行員久保田家扶三太夫(阿部)母親れくす、水夫藤田(高山)馬丁金太、水夫梶本(中村)重作妻たむら、國夫妻律子(堀江)篠田國夫實は大屋重作(田宮)

●歌舞伎座● 伊井一座は廿五日初日の處都合に依りて之を延期せしが愈々今二十九日初日開演出し物は既記の通り『旭俠客』二番目『首の間違』なり

●韓語獨習

日語	韓語
秋に、ならねば	カーウル、テイヨヤ、ト
冬瓜は澤山に、出ませぬ	ヲンパックンマーニ、ナ
胡瓜が香はしくて、宜い	チャムキエカ、コソホコ、チョツソ
菜の漬物が、宜しうございます	ペッチユーキムチガ、チヨツソイタ
生姜は澤山です	サンカンイ、マンツ



●天氣豫報(自廿八日午後六時至廿九日午後六時)

南西の風晴

廿八日 最高溫度 六五、七 最低溫度 五〇、四 (華氏)

●公告 一大日本百科大辭典 全七冊 右ハ本町二丁目日韓書房森山美夫ヨリ當民團立京城中學校ヘ寄附 右公告ス 明治四十二年五月二十八日 京城居留民團民長 熊谷賴太郎

●清津警部官舍其他新築工事 右六月十五日入札ニ附ス詳細ハ廿九日以後ノ官報又ハ當所若クハ元山及清津出張所ノ掲示ヲ見ヨ 建築所

●會寧警察署廳舍其他新築及敷地均工事 右六月十五日入札ニ附ス詳細ハ廿九日以後ノ官報又ハ當所若クハ清津元山出張所ノ掲示ヲ見ヨ 建築所

各種 洗濯石鹸 専門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●下女希望 年十九飯實なる身元保證人あり堅氣の家に雇れたし 氏名在社（二六五）
●尋人謝金 伊豫松山附近より來る人あれば依頼致度事あり謝金十圓を呈す 氏名在社（二六四）
●行商募集 男女を問はず古着行商希望の人を求む 旭町一の六 京仁商會
●求職 普通教育有り職業を撰ばず至急雇れたし 氏名在社（二六九）
●募集 裁縫見習生十四歳より十八歳迄一名入用希望者は來談あれ 大和町二の一六八 技藝女學
●給仕入用 年齢十四五歳の者 本町一丁目 小川勝平事務所（二六八）
●被雇度 年廿五体強中等教育有簿記精通給料多額不望會社商店銀行等被雇たし確實保證人有 氏名在社（二七五）
●明治十一年生の人に御頼み致し度事あり御一報を乞ふ 京城三角町三番地 山内
●被雇度 年二十八身休強健多年建築請負業從事請負業主に雇はれたし給料不論確實保證人あり 氏名在社（二七三）
●告中村銀次君 往復葉書にて御照會ならすでは先方に電話なく通知するに由なし係
●被雇度 土木建築及官衙用達業に多少經驗を有する身元確實なる者同業者に被雇たし高給不望 氏名在社（二七六）
●被雇度 年廿五普通教育有る婦女會社病院商店の事務員又奥欄ある家庭の上女中に雇れたし保證人あり 氏名在社（二七八）
●開校 私立裁縫徒弟學校開始す希望者は至急申込あれ規則書入用の向は郵券二錢送付す 龍山本町三の六六 吉村又平治

物件部

●賣貸家 大和町元軍司令部通庭内三百坪西洋二階建廿七坪平家廿四坪電燈電話附會社病院向格安賣又貸度し 氏名在社（二七三）
●氷店賣却 氷店道具一切附屬品共賣却したし御望の方は電話千百八十三番へ
●求借家 韓人家屋にて人通り繁き横丁にて温突五六間の二階建及平家にても至急借受たし場所太平町北米倉町附近を望む 社内柏木（二七〇）
●求地所 大和町附近高燥にして眺望好き二三百坪の地所を格安にて讓受けたし 氏名在社（二七〇）

廣告

卸 小賣
新茶賣出し



京城本町五丁目
富士の里茶舗
電話九九七番

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
建築業
京城旭町三丁目
柴田芝六
電話五六八番

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目電話三四四番
山村商店
龍山元町一丁目 電話三四八番
中村運送店

概略營業品目

和洋帳簿諸紙類
文房具學用品類
巻紙封筒手帳類
帽子洋傘クッ靴
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹸香水歯磨類
タオル、ハンカチ
手袋沓下袋物類

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候

◎京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候

正札 一 引なし
官衙、陸軍 銀行、會社 御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
和洋雜貨 卸小賣商
電話二百〇六番

特約販賣自製
大 命 薫
漬物 味噌 醤油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
和洋酒、◎精酎、穀物麺類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

諸官衙御用品調達

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
各學校御用品調達

委托販賣
東京 ランバーグ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
山口 臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話 一二三〇番
出張所

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町二丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
（電話三九八番）

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品
品質優等、意匠艶麗
G.D. 印トルコ金口煙草（百本入 十本入）
外各種 百本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候
仁川本町一丁目
直輸入元 トルコ煙草商會
電話（七一五番）

馬車配達
純良
滋養と牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
衛生と消毒
電話（六九番）

京城本町一丁目文部省前 待合 春日

待合 京城本町二丁目

移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す
南大門外御成町紅葉館跡（復活運送店前）
五月 開通
戸田病院
電話九三八番

會席御料理

本町八丁目
富士見樓

▲清潔の下宿
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路（元花屋跡）
▲懇切の下宿
かめ屋

陸軍衛戍病院 大韓醫院 特定御用
消毒 牛乳
京城南山町 荒井牧場
電話一五一番

統監府御用
諸官衙入力車
荷物荷造及運搬
營業 京城曙町（電話七三番）
本店 同本町三丁目（電話四〇番）
伊藤組

明治廿年七月創立
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

あの夏物賣出し
五月二十五日より同三十一日まで
一割引
太物 洋反 カヤ 蒲團
あ
おなじみの本町郵便局前
秋山商店
電話九百五番



最上醤油
山十印

寛永五年創業
米國聖路易萬國博覽會名譽最高賞牌受領
千葉縣銚子町
釀造元 岩崎重次郎
韓國一手特約販賣元
京城
三巴酒店
（電話七五三番）

桶類
製造大安賣
明治町一丁目横町通
矢野商店

西洋料理
京城壽町二丁目
にしき支店
電話七百二十九番
出前仕候

諸傘並に提灯類
印入
和洋蠟燭あり
京城明治町一丁目
大島商店

★株式會社 百三十銀行 京城支店
京城本町二丁目十五番戸
電話五十八
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田
東海道 東京、横濱、大磯、平府、靜岡、桑名、屋、半田、熱田、四日市、津、山田、松阪、
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、森、秋田、能代、七崎、高崎、
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大寺、富山、伏木、新湊、
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、子、境、松江、久手、大田、
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、島、福山、柄、府中、尾の道、三原、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、山、
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、州本、撫養、徳島、善通寺、丸龜、松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、條、松山、三津ヶ濱、
西海道 米、直方、飯塚、博多、福岡、若松、久寺、若津、中津、小倉、門司、行橋、佐伯、別府、大分、伊萬里、唐津、崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、洲、
北海道 函館、小樽、札幌、
台灣 臺北、臺南、
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、浦、羅州、大邱、群山、安東縣、營口、州、馬山、
銀行一般の業務精々便利取扱申可候

日本郵船株式會社仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話三

●釜山長崎門司神戸行
山東丸 六月 六月午後三時
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸 月 日正午
●大連、大沽、牛莊行
山東丸 月 月前五時
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸 六月 十七日正午
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸 月 日午後
御注意
御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金付五拾錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲一ヶ年
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬
發行所 京城新報社
京城西署西小門通 電話六六三番